

## もくじ

- ・ なめとこやまのくま

# なめとこやまのくま

げんさく： みやざわ けんじ

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

なめとこやまは、それはそれは  
おおきなやまで、さんちょうは いちねんじゅう、  
ぶあつい くもか、つめたい きりに  
おおわれていました。

このやまの ちゅうふくには、おおきな たきが  
あって、そのあたりに、むかし、  
くまが たくさんいました。なめとこやまの  
くまの きもは、よくきく くすりとして、  
とうじ ちょうほうされていました。

くまとりめいじんの こじゅうろうは、  
くまをとって、そのけがわと きもをうって  
くらしをたてていました。こじゅうろうは、  
おおきなからだに、きのかわで つくった みのと、  
じょうぶな すねあてを みにつけ、  
てっぽうをかついで、たくましい いぬをつれて、  
まいにち なめとこやまに はいっていきました。  
なめとこやまの くまたちは、きのうえから、  
けわしい やまみちを あるく こじゅうろうを  
ながめていました。

そのひ、こじゅうろうは、くまを いっとう  
しとめました。こじゅうろうは しとめた くまに  
ちゅういぶかく ちかより、はものをつかって、  
ていねいに くまを ばらしました。



「ああ、くまよ。おれは おまえが にくくて  
ころしたわけじゃないんだ。おれも ほんとうは、  
こんなことを したくないんだ。  
だが、うちには はたけもないし、  
さとに おりても、ほかに しごともない。  
おまえが くまに うまれたのが いんがなら、  
おれも、こんな しょうばいが いんがだ。  
やい、くまよ。おまえも こんどは、  
くまなんかに うまれてくるんじゃないぞ」

こじゅうろうは、くまを ばらしながら、  
いつも こんなことを つぶやいていました。  
くまたちも、こじゅうろうの きもちを  
よく りかいしていましたが、  
このやまの くまたちは、だれも こじゅうろうを  
にくんでは いませんでした。  
こじゅうろうは、うらみも にくしみもない  
じぶんに ころされていく くまたちに ふかく  
どうじょうし、いつしか、くまの ことばさえも  
わかるようになった きがしてました。

そのとしの はるも、まだ このはが  
あおくならないうちに、こじゅうろうは  
いぬをつれて、なめとこやまに はいりました。

